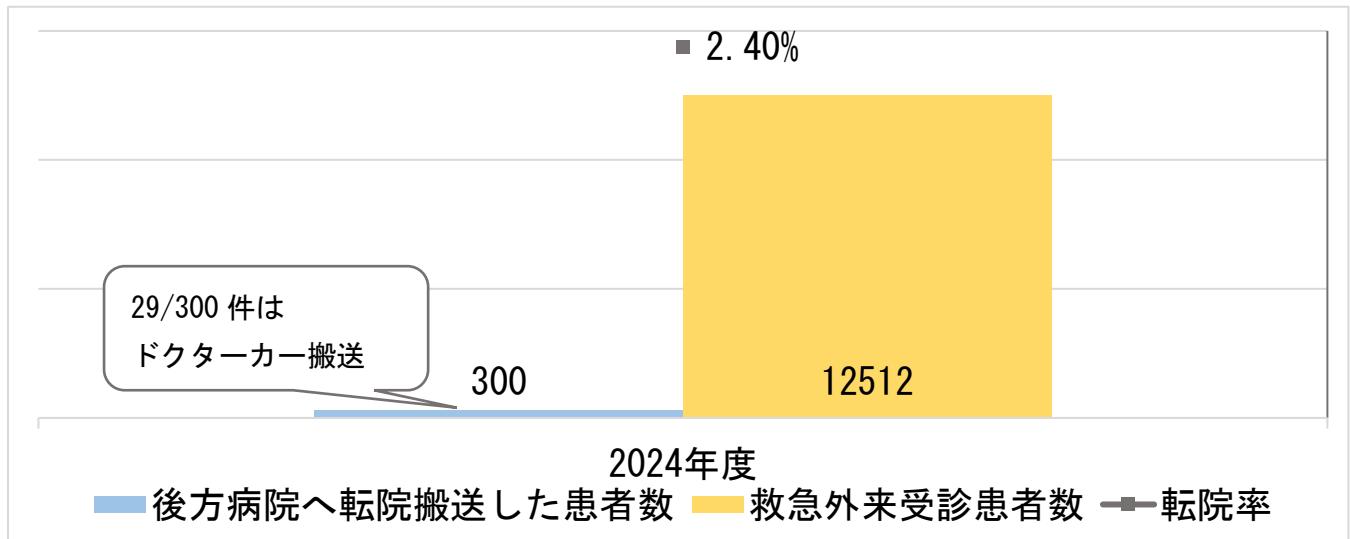


救急外来から後方病院への転院率



■ 定義

$$\frac{\text{後方病院へ転院搬送した患者数}}{\text{救急外来受診患者数}} \times 100 = \text{救急外来から後方病院への転院率}$$

(搬送数と Walk in 数の総数)

■ 指標の解説

救急搬送された患者さんで、他の医療機関でも対応が可能と判断する場合に、連携する他の医療機関に看護師等が同乗の上で適切に転院搬送を行っている指標となります。

■ 改善活動

Plan

他の医療機関でも対応可能患者を転院搬送し、3次救急患者を積極的に応需する

(活動計画)

- ・適切な患者トリアージ
- ・初期診療後早期より地域医療連携センターと連携
- ・後方病院となる地域医療機関を拡充する
- ・ドクターカーによる医療機関搬送
(医師、看護師、救命救急士の同乗)

(下半期)

- ・後方病院の拡充推進

(年度末)

- ・病院救急車を活用した効果的な転院搬送の拡充推進
- ・24時間体制でのドクターカー運用構築

Action

Do

救急患者連携搬送料の連携先病院を拡大した。早期に地域医療連携センターと連携し、昨年度より約2倍の転院率となった。8月よりドクターカーによる搬送が開始となり、入院患者・外来患者含めた後方病院への搬送を推進した。

(上半期)

地域医療連携センターと連携しながら後方病院での転院率を増加させている。今後も連携先病院を拡大予定、またドクターカーの活用にて適切な転院を促進させていくことが必要である。

(年度末)

救急患者連携搬送病院を18施設まで拡大することができ、各診療科・地域連携センター・Eステーションと協働しながら、円滑な搬送支援を実施。目標値を上回る結果となった。

Check